

聖母の小さな学校 通信

京都府教育委員会認定フリースクール
聖母の小さな学校
2022 年
11 月 1 日発行
第 250 号

さあ、2 学期後半に向けてがんばろう！～スポーツフェスタを終えて～

灯火親しむの候 静かに深く自己に向き合う好季となりました。平素は聖母の小さな学校の教育に格別のご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、去る 10 月 8 日（土）には第 29 回「スポーツフェスタ 2022」を行いました。在籍生徒 4 名全員で取り組みました。毎年、生徒たち一人ひとりが持っている、そして不登校を通して見えてくる、自己の課題によって、その年のスポーツフェスタの内容が変わります。例年は、自分が出会った不登校という困難を通してつかんだ自分の課題をテーマにまとめ、それをもとに大きなパネル画を作成します。しかし、今年はテーマを考えるのは難しく、自己に出会い



（雨天のため、聖母幼稚園体育館にて開催）

自己の課題をつかみ言葉にすることはできませんでした。けれど、一人ひとりがスポーツフェスタという行事や、聖母の小さな学校での学び、また、自身の現実について安心した形で意識をしてくれたと思います。当日参加できた生徒は 1 名でした。ある生徒は、当日参加はできなかったけれど、保護者の動きを通して意識することができました。また、ある生徒は、聖母に登校した時、集団演技の手話歌を 30 分練習しました。また、ある生徒は「当日は参加できそうにないので」と、前日のグラウンドのライン引きに参加しました。当日参加した 1 名の生徒は、スポーツフェスタの自分の目標を、「当日休まない」「手話歌を覚え、演技する」と決めることができました。テーマについては、この生徒が聖母を卒業するまでにつかめるように導きたいと思います。そういうスポーツフェスタでしたが、舞鶴市教育委員会教育長、教育理事はじめ、学校の先生方、舞鶴ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト舞鶴、舞鶴東西更生保護女性会、卒業生とその保護者等 50 余名が、コロナ禍の中、応援に来てくださり、私たちに励まし、温かく力づけてくださいました。教育長は挨拶の中で、「子どもたちが真剣に頑張っていることを称え、私たち大人ができる事を一生懸命していきましょう。その事が大事です」というエールを送ってくださいました。本校の顧問も、不登校という難しさを生きていく困難さを理解した上で、聖母の小さな学校は「皆さんと共に歩む」と挨拶致しました。生徒一人ひとりがスポーツフェスタの取り組みや 2 学期の始業式以降の日々の中に、自分の生活や行動、聖母での学びを丁寧につかみ、今の生活や行動を良いものにしていくことができるようにしたいと思います。

11 月は 3 日（木・祝）の「鯖街道を歩く」第 3 回目や、23 日（水・祝）親子バス遠足などもあります。生徒たちが少しずつ行動を増やしていつてくれることを願っています。また保護者の方は、聖母との面談をお取りくださるようお願いいたします。今月もよろしくお願いいたします。

<今月の主な行事>

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1 日（火）「鯖街道」事前学習（山下先生） | 16 日（水）体育（渡邊先生） |
| 3 日（木・祝）「鯖街道を歩く」第 3 回 | 17 日（木）・24 日（木）ウズベキスタン文化 |
| 6 日（日）音楽鑑賞会 | 21 日（月）華道教室（山中先生） |
| 9 日（水）・25 日（金）ギター教室 | 23 日（水・祝）親子バス遠足「佐和山城跡・彦根城」 |
| 11 日（金）・18 日（金）理科（中岡先生） | 25 日（金）保護者会 19:00～ |